



内閣府  
沖縄総合事務局

記者発表資料  
発表後の取扱自由

平成24年9月3日  
北部ダム事務所

## 億首<sup>オク</sup>ダム<sup>クビ</sup>供用に向け試験<sup>シ</sup>湛<sup>ケン</sup>水<sup>タン</sup>を開始<sup>スイ</sup>！

沖縄総合事務局北部ダム事務所では、平成5年度から沖縄県国頭郡金武町の億首川において建設中である億首ダムの平成26年度供用開始に向け、下記のとおり試験湛水（※）を開始することとなりましたので、お知らせ致します。

### 記

#### 【億首ダム試験湛水式】

- ◆日時：平成24年9月6日（木） 午前10時より
- ◆場所：金武町字金武（億首ダムサイト）…別添図参照

※試験湛水とは、ダムの供用を開始する前に、試験的にダム貯水池の水を最高水位まで貯め、その後平常時の水位まで下げることにより、ダム本体の安全性及び貯水池周辺地盤や斜面等の安全性を確認する目的で実施するものです。

### 問い合わせ先

内閣府 沖縄総合事務局 北部ダム事務所

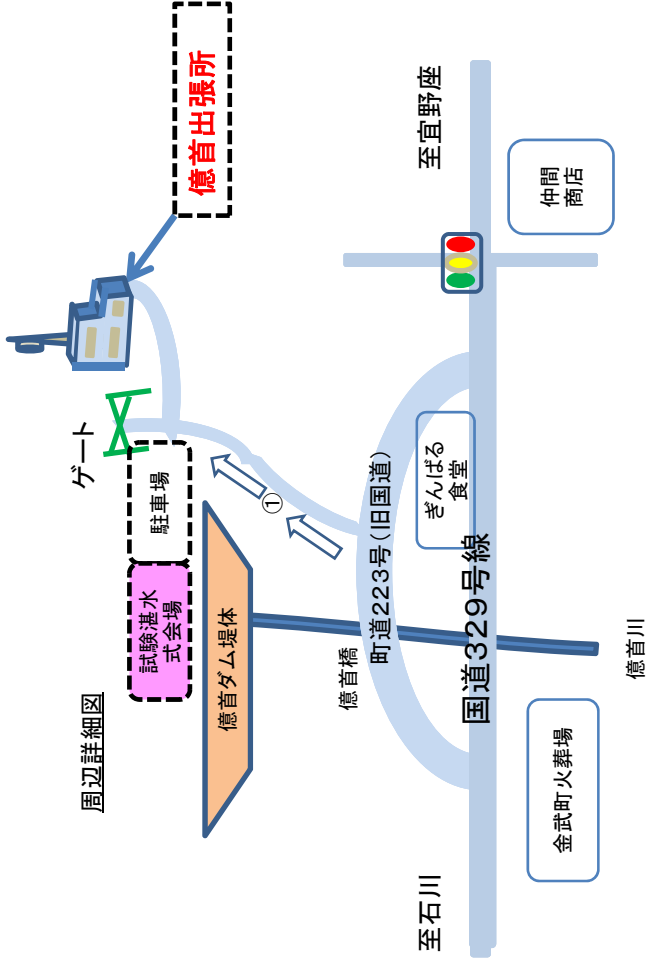
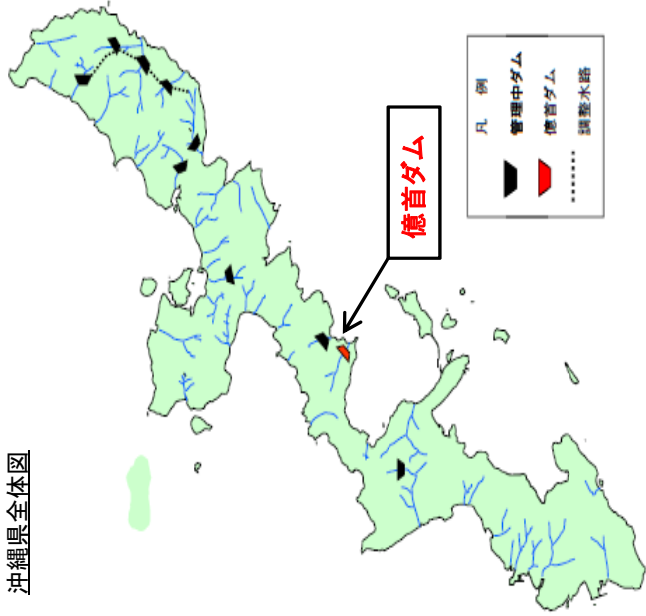
副 所 長     アニヤ     ツム     （ 内 線 204 ）  
                  安仁屋     勉

総 務 課 長     オオンロ     ジュンイチ     （ 内 線 211 ）  
                  大城     純一

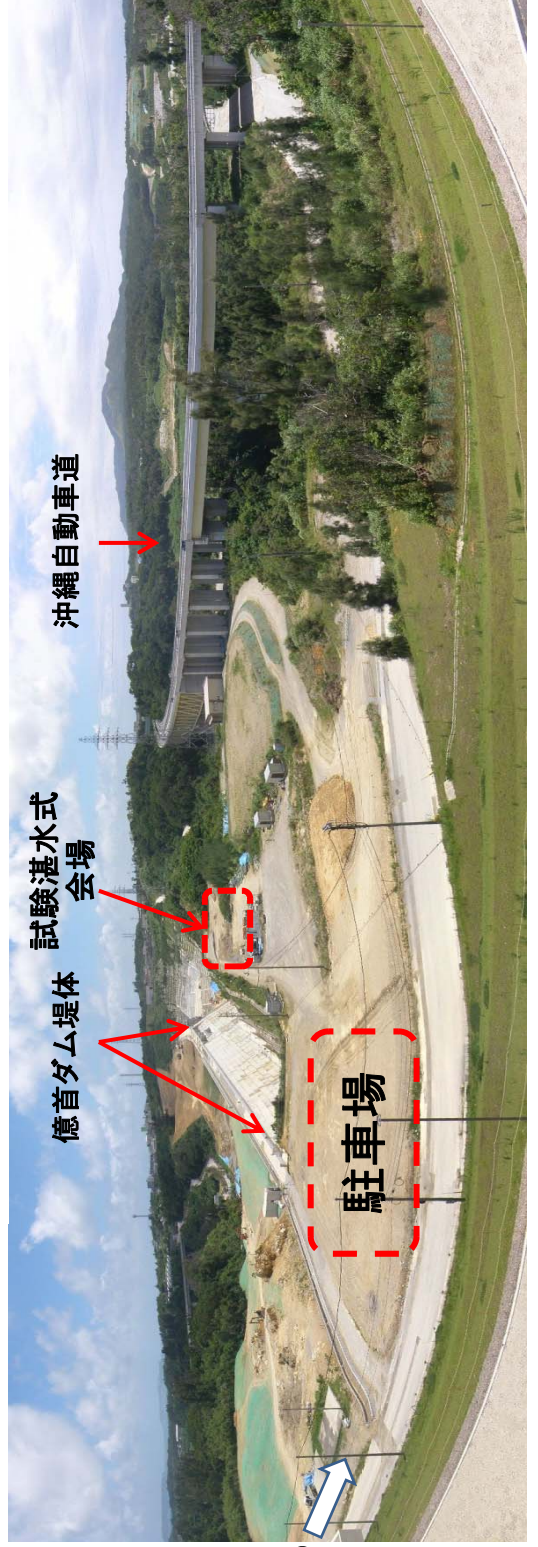
電 話   :   0980-52-0531   （ 代 表 ）

# 億首ダム位置図

沖繩県全体図



億首ダム試験湛水式会場位置(億首出張所より撮影)



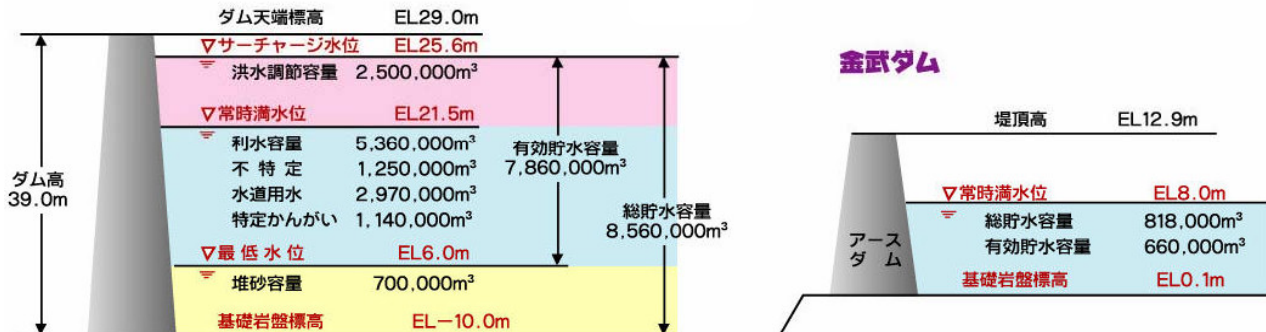
国道329号  
から

# 億首ダムの概要

## ダムの諸元と経緯

億首ダムは、現在億首川にある水道専用の金武ダムの再開発を行うものであり、ダムの規模は金武ダムと比較して高さが約3倍、総貯水容量は約10倍。

### 貯水池容量配分図



※億首ダムは金武ダムより約120m下流に建設します。

#### ダム諸元

位置	..... 沖縄県国頭郡金武町朝金武地先
型式	..... 台形CSGダム
堤頂長	..... 461.5m
堤体積	..... 339,000m³
集水面積	..... 14.6km²
湛水面積	..... 0.61km²

#### ダム経緯

- 平成5年3月 漢那ダム及び億首ダム建設に関する基本計画告示
- 平成15年3月 台形CSGダム大臣特認
- 平成21年3月 本体建設工事契約締結
- 平成23年2月 定礎式
- 平成23年9月 ダム本体コンクリート打設完了

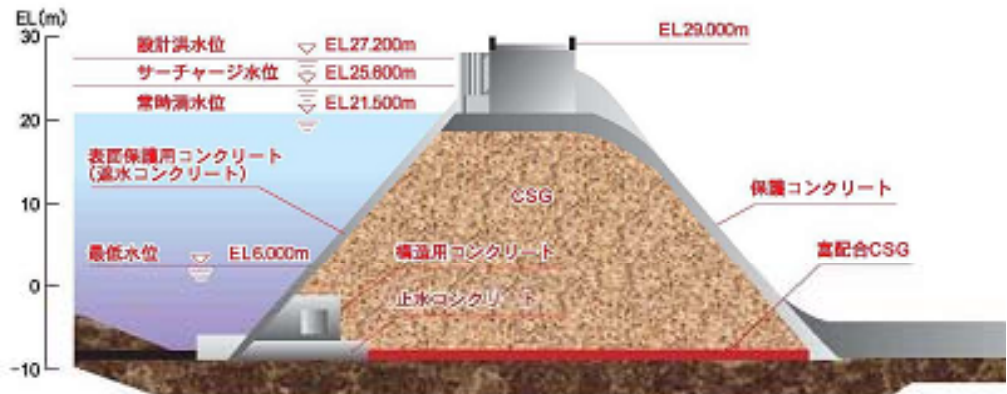
## ダムの目的

- ・洪水調節 (ダム地点において計画高水流量300m³/sのうち、190m³/sの洪水調節を行う。)
- ・流水の正常な機能の維持
- ・水道用水 (沖縄県に対し、ダム地点で新たに10,300m³/日の水道用水の供給を行う。)
- ・かんがい用水 (億首川沿川の約70haの農地に対し、新たにかんがい用水の供給を行う。)

### 億首ダムの特徴: 日本で初めて台形CSGダムの採用

ダム本体の型式については、設計・材料・施工の合理化を行うことにより建設コストの削減・環境負荷の低減を図れる台形CSGダムを採用(日本で初めて採用)

#### ダム断面図 (常用洪水吐き部)



※CSGとは(Cemented Sand and Gravel)の略で、河床砂礫や掘削土など現地発生材にセメントを添加、混合したもの